

認知症初期集中支援チームを設置

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、複数の専門職がチームとなって、本人およびその家族に対する支援を集中的に行い、自立生活のサポートを行うため、認知症初期集中支援チームを設置します。

1 認知症初期集中支援チーム員の構成

認知症初期集中支援チーム員は、保健師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、介護福祉士等の医療、保健または福祉に関する国家資格を有する専門職、及び専門医で構成されます。三木市では三木市医師会の連携のもと、大村病院にご協力いただき、三木市中央地域包括支援センター職員と大村病院の専門職、専門医とでチームを構成します。

2 対象者

40 歳以上で自宅で生活をしている認知症の方や認知症が疑われる方で、

- ・ 認知症の診断を受けていない、または治療を中断している方
- ・ 必要な医療サービスや介護サービス等を利用していない方
- ・ 認知症による症状が強く対応に困っている方 など

3 相談の流れ

(1) 本人や家族、近隣の方等の相談を受け、認知症初期集中支援チーム員が自宅を訪問します。

↓

(2) 初期集中支援チームが今後の支援調整について検討、助言を行います。

- ・ 医療機関への受診や調整
- ・ 必要な医療や介護サービスの検討
- ・ 認知症の症状への対応やアドバイス

↓

(3) 介護事業所やインフォーマルサービス等の関係する機関へ引き継ぎ

4 事業開始 平成 27 年 12 月 1 日

問い合わせ先 三木市中央地域包括支援センター
電話 0794-82-2000（内線 2340）